

社会口腔保健学実習（社会歯科医学 2 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：後藤田 宏也（公衆予防歯科学） ユニット責任者：後藤田 宏也（公衆予防歯科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	衛生・公衆衛生学、予防歯科学、で学んだ知識を臨床の場で、また地域社会の場で実践できるための基礎知識を身につける。実習形態として「必須課題」と「選択課題」がある。「必須課題」については、個人及び地域住民の予防管理を進める考え方、基本技術を総合的に、体系的に習得するための課題が用意されている。「選択課題」としては、小班単位で、課題の選択から始まり、研究方法、調査実験の実施、結果のまとめ・考察、発表までを行う。国民の健康を増進するための高い倫理観を持ち、可能な限り現場での体験を元に具体的な課題を発見し、自らその解決方法を探り提案できることが要求される。
授業担当者	那須郁夫、後藤田宏也、有川量崇、田口千恵子、 秋月照彦、 生田明敏、 岩城倫弘、 佐藤誠司、 新保秀樹、 深井穂博、 松原清吾
教科書	新予防歯科学（医歯薬出版）、口腔保健マニュアル（南山堂）
参考図書	フッ素洗口の手引き（新潟県） 小学校歯の保健指導の手引き（東山書房）、実践予防歯科（医歯薬出版） Primary Preventive Dentistry: 6th Edi.、スタンダード衛生・公衆衛生（学建書院）、口腔保健学（医歯薬出版）、国民衛生の動向（厚生統計協会）、わかりやすいフッ素の応用とひろめかた（学建書院）
実習器材	予防歯科管理セット（デンタルミラー、歯科用探針、WHO/CPI プローブ、う蝕リスク診断キット等）
評価方法 (EV)	レポートおよび提出物の評価（50%）、実習態度（10%）、筆記試験（40%）によって評価点とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科疾患の予防を効果的に進めるには、病気で苦しむ患者を目の前にして対処するばかりでなく、川の上流に向かうよう (Going upstream) に、原因を元から絶つ対策が最重要であることを知って欲しい。予防歯科の基本コンセプトは、住民の優先性 (Consumer Sovereignty)、第一予防 (Primary Prevention) の重要性、実践としての社会的支援活動 (Health Promotion) であることを、常に反芻し確認すること。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 10 日 (火) 3 時間 14:00 ~ 16:50	オリエンテーション ----- [選択課題]	【実習】第 1 実習室、第 4 実習室 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成 ----- ・課題選択の検討 A- 6 , B-1,-2,-3 ,E-1-6) 必 -3, 総 -(), 各 -	那須郁夫 有川量崇 秋月照彦 岩城倫弘 新保秀樹 松原清吾 後藤田宏也 田口千恵子 生田明敏 佐藤誠司 深井穂博
4 月 17 日 (火) 3 時間 14:00 ~ 16:50	[必須課題] ・う蝕検出基準（抜去歯） ・集団歯科検診法 : う蝕 ----- [選択課題]	【実習】第 1 実習室、第 4 実習室 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。 ----- ・自主活動 A- 6 , B-1,-2,-3 ,E-1-6) 必 -3, 総 -(), 各 -	同上
4 月 24 日 (火) 3 時間 14:00 ~ 16:50	[必須課題] ・う蝕検出基準（抜去歯） ・集団歯科検診法 : う蝕 ----- [選択課題]	【実習】第 1 実習室、第 4 実習室 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。 ----- ・自主活動 A- 6 , B-1,-2,-3 ,E-1-6) 必 -3, 総 -(), 各 -	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月1日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・集団歯科検診法 : 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患(CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。 ----- ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
5月8日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・集団歯科検診法 : 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患(CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。 ----- ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
5月15日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
5月22日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
5月29日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
6月5日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月12日(火) 3時間 14:00～16:50	[選択課題]	【実習】第1実習室 ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
6月19日(火) 3時間 14:00～16:50	[選択課題]	【実習】第1実習室 ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
6月26日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動試験評価 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・各自のう蝕レーダーチャートを作成し、評価を行う。 ----- ・自主活動 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
7月3日(火) 3時間 14:00～16:50	【選択課題】	【実習】302教室 課題の発表と討論 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
7月10日(火) 3時間 14:00～16:50	[選択課題]	【実習】302教室 課題の発表と討論 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上
7月17日(火) 3時間 14:00～16:50	試験 地域歯科保健活動又は国際保健活動	筆記試験 地域歯科保健又は国際保健活動事例報告 A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-(), 各-	同上